

岩国医療圏地域医療構想調整会議（平成30年度第2回） 議事概要

【日時】平成31年1月24日（木）14:30～15:30

【場所】岩国総合庁舎1階 入札室

【出席者】出席者名簿のとおり

- 第2回病床機能検討部会協議結果の報告を行った。
- 調整会議の取組促進に向けた県の対応や、地域医療構想の達成に向けた医療機関の対応方針の決定に係る協議方法等について説明し、了承された。
- 公立病院及びその他の急性期病院等について、地域医療構想の達成に向けた対応方針を協議し、各医療機関の対応方針を決定した。

【議事内容】

1 地域医療構想調整会議の取組促進に係る対応について

県医療政策課から、調整会議の議論活性化のための地域医療構想アドバイザー設置や山口県医療審議会を活用する県単位の地域医療構想調整会議について説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

2 地域医療構想の達成に向けた医療機関の対応方針の決定について

県医療政策課から、公立病院及びその他の医療機関の具体的対応方針の決定に係る協議方法について説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

3 地域医療構想調整会議の協議事項に係る対応について

県医療政策課から、病床が全て稼働していない病棟を有する医療機関への対応等について説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

4 第2回病床機能検討部会の協議結果について

事務局から、公的医療機関等2025プラン及びその他の急性期病院等の医療機関2025プランの具体的対応方針が該当医療機関からの説明どおり病床機能検討部会において合意したこと、及び非稼働病床を有する医療機関について、現状及び当該病棟の今後の運用見通しを確認したことなど、議事概要を報告した。

(主な意見・質問等)

- 玖北地区の公立2病院について、医師確保が非常に厳しい中、将来に亘り維持していくため、玖北全体の視点で、適切な病床規模や機能を、今後も継続して考えていく必要がある。
- 中小規模の急性期病院について、医師確保の面からも、将来的に維持することが難しいため、医療機能の転換方法を考えていく必要がある。
- 地域の医師確保のため、岩国から地域枠で入学している学生に対し、地域の実情に関する情報提供や意見交換を行うなど、在学時の意思決定につながるアプローチに取り組む必要がある。
- 各病院の方針及び非稼働病床を有する医療機関の今後の運用見通しについて、調整会議として承認した。

5 介護医療院等に係る情報提供について

県医療政策課から、介護医療院への転換に係る支援や在宅医療提供体制充実支援事業の取組状況について情報提供を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし